

令和元年度 飯能市水道事業中期経営計画（平成28～令和2年度）の事業評価について

（1）計画期間における目標指標

（ア）施設利用率

指標名	現況				見込	目標
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度
施設利用率	51.9%	51.8%	51.6%	53.2%	52.1%	66.4%
指標の考え方	日常給水に要する各浄水場施設の稼働率					

※目標値は、浄水施設等再構築事業の完了に伴い、本郷浄水場を休止した場合（同浄水場の配水能力を減額した場合）を想定し算出した。本郷浄水場は、浄水施設等再構築事業完了後、令和4年度以降に休止する予定のため、計画期間内における目標値の達成は難しい状況である。

（イ）有収率

指標名	現況				見込	目標
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度
有収率	85.7%	85.6%	85.3%	82.6%	83.5%	90.0%
指標の考え方	配水量に対する有収水量の割合					

※漏水調査の実施や迅速な修繕工事の対応により、漏水の早期発見と漏水量の抑制に努め、有収率の現状維持を図る。

（ウ）管路耐震化率

指標名	現況				見込	目標
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度
管路耐震化率	22.9%	23.7%	24.6%	25.0%	25.7%	25.0%
指標の考え方	管路延長に対する耐震管の割合					

※旧市街地における赤水対策のほか、漏水懸念箇所や土地区画整理事業地内を中心に耐震管への布設替えをすることにより、管路の耐震化を図る。

（エ）市民満足度

指標名	現況				見込	目標
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度
市民満足度	—	—	—	49.0%	—	43.5%
指標の考え方	市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合					

※水の安定供給及び上水道の整備を進め、令和元年度に実施される市民意識調査で市民満足度49%となり目標を上回った。

なお、平成26年度実施の市民意識調査による「満足」、「やや満足」の割合は、38.5%であった。

(2) 主要な建設改良事業の進捗状況

実施事業①

事業名	ア 取水・浄水・配水施設等整備事業				総事業費	1,047,456千円	
実績値 (単位：千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度予算	計	
	191,506	169,236	237,211	260,160	161,084	1,019,197	
総事業費に対する進捗割合	18.3%	16.2%	22.6%	24.8%	15.40%	97.3%	

◆事業内容別実績値 (単位：千円)

事業内容	事業費	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度予算	計
取水場整備事業	120,000	49,680	41.4%	48,060	40.1%		
浄水場整備事業	441,156	105,862	24.0%	72,900	16.5%	88,009	19.9%
配水場整備事業	201,700	15,120	7.5%	48,276	23.9%	8,802	4.4%
ポンプ場整備事業	284,600	20,844	7.3%	0	0.0%	140,400	49.3%
計	1,047,456	191,506	18.3%	169,236	16.2%	237,211	22.6%
						260,160	24.8%
						161,084	15.4%

◆令和元年度の取り組み (決算額)

浄水場整備事業	小岩井浄水場高感度濁度計ほか更新工事	9,460千円
	小岩井浄水場ほか遠方監視装置等更新工事 (令和元・2年度継続事業)	151,360千円
ポンプ場整備事業	有間増圧ポンプ場非常用発電機更新工事	11,340千円
	美杉台ポンプ場受電設備更新工事	88,000千円

◆令和2年度の予算(予算額)

浄水場整備事業	小岩井浄水場ほか遠方監視装置等更新工事(継続)	151,382千円
ポンプ場整備事業	唐竹ポンプ場送水ポンプ盤更新工事	9,702千円

◆事業の進捗状況

評価	評価内容
○	小岩井浄水場高感度濁度計ほか更新工事は、濁度計を更新し完成した。 小岩井浄水場ほか遠方監視装置等更新工事は、令和元年度、令和2年度の継続事業で実施していく。 浄水場、ポンプ場など更新時期を迎える浄配水施設の主要な整備は、今後も計画的に更新していく。

評価の表示内容 ○計画を上回る ○計画どおり △一部計画を変更して実施 ×実施できなかった

◆事業評価(総括)

評価	評価内容
○	本市の基幹施設である小岩井取水場や小岩井浄水場の施設の改修のほか電気・機械設備、配水場やポンプ場等の主要設備について、計画どおり更新を行った。

評価の表示内容 ○計画を上回る ○計画どおり △事業継続・延長 ×実施できなかった

実施事業②

事業名	イ 老朽管布設替事業(管路耐震化推進事業)				総事業費	1,412,100千円	
実績値 (単位：千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度予算	計	
	370,468	215,642	346,217	356,374	262,790	1,551,491	
総事業費に対する進捗割合	26.2%	15.3%	24.5%	25.2%	18.6%	109.8%	

◆事業内容別実績値 (単位：千円)

事業内容	事業費	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度予算	計
配水管布設替工事 (旧市街地)	588,610	110,430	18.8%	50,252	8.5%	171,828	29.2%
配水管布設替工事	823,490	260,038	31.6%	165,390	20.1%	174,389	21.2%
計	1,412,100	370,468	26.2%	215,642	15.3%	346,217	24.5%
						356,374	25.2%
						262,790	18.6%

◆令和元年度の取り組み (決算額)

配水管布設替工事 (旧市街地)	縦 東町地内配水管布設工事(第1工区) (335.9m)	54,097千円
	東町地内配水管布設工事 (248.6m)	47,762千円
	東町地内舗装復旧工事 (1989.7㎡)	26,708千円
配水管布設替工事	川崎・下川崎地内配水管布設工事 (284.9m)	25,795千円
	飯能地内配水管布設工事(第1工区) (11.1m)	44,429千円
	平戸地内配水管布設工事(平戸橋) (51.8m)	36,212千円
	大河原地内舗装復旧工事 (1052.2㎡)	8,654千円
	縦 飯能地内送配水管布設工事(第1工区) (215.5m)	112,717千円

◆令和2年度の予算(予算額)

配水管布設替工事 (旧市街地)	縦 柳町地内配水管布設工事 (497.2m)	49,280千円
	縦 東町地内舗装復旧工事その2 (1711.3㎡)	22,748千円
	柳町地内配水管布設工事 (500m)	63,800千円
	柳町地内舗装復旧工事 (2500㎡)	11,000千円
配水管布設替工事	双柳地内配水管布設工事(第1工区) (509.4m)	40,810千円
	平松地内配水管布設工事 (360m)	35,640千円
	原市場地内配水管布設工事 (230m)	25,300千円
	舗装復旧工事	8,712千円
	緊急工事	5,500千円

◆事業の進捗状況

評価	評価内容
○	令和元年度は、旧市街地の老朽管布設替えとして、584mの布設替えが終了した。これにより全体計画10,514m中、8,918mの布設替えが終了し、進捗割合が約85%となった。 令和元年度は、漏水が多発している川崎・下川崎地内の配水管布設替えを実施した。令和2年度は平松地内の配水管布設替えを計画している。 また、今後も旧市街地の赤水対策として老朽管布設替えを実施する。

評価の表示内容 ○計画を上回る ○計画どおり △一部計画を変更して実施 ×実施できなかった

実施事業③

事業名	ウ 配水管網整備事業				総事業費	545,940千円
実績値 (単位：千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
	175,564	176,595	215,740	117,349	129,800	815,048
総事業費に対する 進捗割合	32.2%	32.3%	39.5%	21.5%	23.8%	149.3%

◆事業内容別実績値 (単位：千円)

事業内容	事業費	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
土地区画整理関連 配水管工事	324,000	52,770 16.3%	60,124 18.6%	75,989 23.5%	72,172 22.3%	58,630 18.1%
下水道関連 配水管工事	76,720	76,885 100.2%	89,046 116.1%	25,542 33.3%	45,177 58.9%	40,370 52.6%
配水管布設工事	145,220	45,909 31.6%	27,425 18.9%	114,209 78.6%	0 0.0%	30,800 21.2%
計	545,940	175,564 32.2%	176,595 32.3%	215,740 39.5%	117,349 21.5%	129,800 23.8%


◆令和元年度の取り組み (決算額)

土地区画整理関連 配水管工事	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事 (第1工区) (29.7m)	1,705千円
	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事 (第2-1工区) (142.6m)	11,297千円
	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事 (第2-2工区) (40.1m)	3,432千円
	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事 (第3工区) (107.1m)	8,283千円
	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事 (第5工区) (41.5m)	4,644千円
	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事 (第7工区) (44.6m)	4,212千円
	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事 (第8工区) (52.8m)	4,708千円
	岩沢北部土地区画整理地内配水管布設工事 (第1工区) (82.0m)	4,752千円
	岩沢北部土地区画整理地内配水管布設工事 (第3工区) (68.0m)	4,070千円
岩沢北部土地区画整理地内配水管布設工事 (第4工区) (136.6m)	25,069千円	
下水道関連 配水管工事	岩沢南部土地区画整理地内配水管布設工事 (第1工区) (366.1m)	45,177千円

◆令和2年度の予算 (予算額)


土地区画整理関連 配水管工事	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事 (第1工区) (260m)	21,560千円
	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事 (第2工区) (100m)	8,800千円
	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事 (第3工区) (70m)	6,160千円
	岩沢北部土地区画整理地内配水管布設工事 (第1工区) (50m)	3,850千円
	岩沢南部土地区画整理地内配水管布設工事 (第1工区) (50m)	5,500千円
	岩沢南部土地区画整理地内配水管布設工事 (第2工区) (90m)	8,910千円
	岩沢南部土地区画整理地内配水管布設工事 (第3工区) (50m)	3,850千円
下水道関連 配水管工事	笠縫土地区画整理地内配水管布設工事 (第4工区) (35.5m)	6,930千円
	岩沢南部土地区画整理地内配水管布設工事 (第4工区) (110m)	13,310千円
	岩沢地内配水管布設工事 (第1工区) (30m)	3,630千円
	岩沢地内配水管布設工事 (第2工区) (50m)	5,500千円
配水管布設替工事	岩沢地内配水管布設工事 (第3工区) (110m)	11,000千円
	岩沢地内配水管布設工事 (第4工区) (100m)	11,000千円
	中山地内配水管布設工事 (特設) (180m)	19,800千円

◆事業の進捗状況

評価	 区画整理事業、下水道事業、道路事業の計画に併せて、各事業の工事進捗状況により上水道の工事を実施した。 今後も各事業計画の進捗に併せて配水管網整備を進めていく。
評価の表示内容	

◎計画を上回る ○計画どおり △一部計画を変更して実施 ×実施できなかった

◆事業評価 (総括)

評価	 市が施行する土地区画整理事業、下水道事業及び道路事業と連携して配水管網の整備を行うことができた。
評価の表示内容	

◎計画を上回る ○計画どおり △事業継続・延長 ×実施できなかった

実施事業④

事業名	エ 浄水施設等再構築事業				総事業費	682,170千円
実績値 (単位：千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
	30,661	116,163	563,926	134,421		845,171
総事業費に対する 進捗割合	4.5%	17.0%	82.7%	19.7%		123.9%

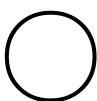
◆事業内容別実績値 (単位：千円)

事業内容	事業費	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
県水受水場改修工事	407,000			0	0.0%	447,725	110.0%			
送水管布設工事	221,170	30,661	13.9%	116,163	52.5%	116,201	52.5%	36,140	16.3%	
本郷配水場 電気設備更新ほか	54,000	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	98,281	182.0%	
計	682,170	30,661	4.5%	116,163	17.0%	563,926	82.7%	134,421	19.7%	

◆令和元年度の取り組み (決算額)


県水受水場改修工事	—		—
送水管布設工事	継) 飯能地内送配水管布設工事 (第1工区)	(319.4m)	36,140千円
本郷配水場 電気設備更新ほか	—		—

◆事業の進捗状況

評価	
	小岩井浄水場を中心とした浄水体制とするための送配水施設の建設、電気設備の増強等の整備を行った。

評価の表示内容 ◎計画を上回る ○計画どおり △一部計画を変更して実施 ×実施できなかった

◆事業評価 (総括)

評価	
	本事業を優先施策の一つに位置づけ、小岩井浄水場を中心とした浄水体制とするための送配水施設の建設、電気設備の増強等の整備を行った。

評価の表示内容 ◎計画を上回る ○計画どおり △事業継続・延長 ×実施できなかった


実施事業⑤

事業名	才 基幹施設耐震化事業				総事業費	239,708千円
実績値 (単位：千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
	50,641	59,724	80,816			191,181
総事業費に対する 進捗割合	21.1%	24.9%	33.7%			79.7%

◆事業内容別実績値 (単位：千円)


事業内容	事業費	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
小岩井取水場 耐震補強工事	73,632	50,641 68.8%				
小岩井浄水場 耐震化工事	166,076		59,724 36.0%	80,816 48.7%		
計	239,708	50,641 21.1%	59,724 24.9%	80,816 33.7%		

◆事業の進捗状況

評価	
	小岩井取水場及び小岩井浄水場の耐震補強工事は、平成28年度から平成30年度の3か年で実施した。

評価の表示内容 ◎計画を上回る ○計画どおり △一部計画を変更して実施 ×実施できなかった

◆事業評価 (総括)

評価	
	緊急度、重要度が最も高い小岩井取水場及び小岩井浄水場は、取水井、沈砂池、濾過池及び高架水槽等については計画どおり耐震化補強工事を行い、平成30年度に完了した。

評価の表示内容 ◎計画を上回る ○計画どおり △事業継続・延長 ×実施できなかった

(3) 安全給水対策

カ 水安全対策事業

水安全計画の策定	各浄水場における危害分析を行い、その管理方法や対応措置を定めた水安全計画を策定した。
水質管理計画に基づく水質検査の実施	水質管理計画に従い、定期的に水質検査を実施した。また、水道水が水質基準に適合しており、安全で良好であることをホームページにより周知した。

キ 配水管等維持管理事業

漏水調査の効率的な実施	漏水が疑われる場所を中心に漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努めている。令和元年度は旧飯能地区の一部及び加治地区の一部を実施した。令和2年度は原市場及び名栗地区を実施する。
漏水修繕の早期対応	平成30年4月1日より飯能市水道事業共同組合へ漏水等修繕業務について委託し、24時間体制で漏水修繕の早期対応に努めている。
管網解析システムの活用	管路の適正水圧を確保するため増圧装置の設置及び減圧弁等の更新を行った。

ク 危機管理対策事業

現状に即した危機管理計画の見直し	新型コロナウイルス感染症に対しては、「飯能市水道事業新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」を策定し、安全な水の安定供給に努めている。
災害復旧訓練の実施	近年の震災や風水害による影響に対応するため、危機管理計画に基づき令和元年度に中央公園等を会場に応急給水訓練を行った。

ケ 人材育成事業

研修体制の充実	令和元年度は、日本水道協会主催の研修に2人、横浜ウォーター主催の研修に4人が参加し、技術と知識の向上を図った。水道資材メーカーへの工場見学、希少工法の現場見学など水道技術の継承につなげる取り組みを行っている。
---------	--

コ 官民連携推進事業

業務の委託化	漏水等修繕管理業務については、配水管等の漏水に対し、迅速かつ適正に対応することにより市民生活への影響を最小限に抑えるために委託化を行った。 水道施設運転管理・維持管理業務については、運転・監視業務に加え、簡易的な補修、定期点検、水質検査業務などを包括的に委託し、効率的な運転・維持管理を行っている。 水道料金検針・徴収等業務については、平成30年度から給水窓口・検査業務も加え包括的に委託し、職員の削減と利用者サービスの向上を図った。
--------	---

サ 水道水源保全事業

水道サポーター事業の実施	<p>市内在住の小学生とその保護者を対象に有間ダムや小岩井浄水場を見学する水道サポーター事業などを展開し、水源林の保全事業の体制づくりに取り組んでいる。</p> <p>水源の保全は、給水の安定性や持続性の確保に必要不可欠であることから、ホームページを通じて水道利用者に対して水源の大切さをPRしている。</p>
--------------	---

シ 利用者サービス向上事業

収納取扱金融機関の追加	<p>収納取扱金融機関を新たに追加し納付機会の拡充を図るとともに、窓口業務の充実を図るため「飯能市上下水道料金センター」を開設した。さらに、部内の職員でサービス向上のための検討部会を設け、納付機会の拡充について検討した。</p> <p>令和2年度より新たに指定給水装置工事事業者の更更新手続きを開始し、事業状況の把握、適正工事の指導により、給水装置工事のトラブルを防止し、水道利用者の信頼確保に努めている。</p>
-------------	---

ス 水道広報事業

広報、ホームページへの掲載	<p>水道週間、水道サポーター事業、水道ポスター事業を通じた啓発のほか、水質検査結果等の情報を提供している。</p>
---------------	--